

フェアリーリング対策資材

リングアウト

2.5Kg×8袋

特 長

「きのこ」の天敵微生物である「土青かび」7種に加えて「バチルス」「タラロマイセス」をそれぞれ純粋培養して配合してあります。

最強の「抗きのこ軍団」とよべます。もともと、土壤に生息する微生物群であり、環境にやさしい安全な資材です。

成 分

●土青かび ●バチルス ●タラロマイセス

それぞれ100g中 10^9 以上という高濃度(微生物密度)で配合してあります。

使用方法

1000リットルタンク車に5Kg～10Kg投入して、剥(む)く刃でコアリングした空孔に1m²あたり1リットル程度、流し込んで下さい。なるべく「きのこ」のコロニーに近づけ施用することがポイントです。

補 足

「きのこ」は植物で言えば「花」とか「実」にあたる部分で「子実体」と呼ばれています。「きのこ」が無くても「菌糸」が「コロニー」を形成していると、砂地に鼻を近づけて嗅ぐと「きのこ」の臭いがします。「菌糸」が死滅しない限り、翌年に同じ場所に、同じように一回り輪が大きくなつた「きのこリング」が出現します。

使用上の注意

本品は微生物資材です。殺菌剤(なかでも、とりわけ「ベノミル剤」「チオファネートメチル」「イプジオン」「フェナリモル」との混用は避けて下さい。

フェアリーリングの対策

ゴルフ場で「大きな円形の緑の輪」または「輪になって発生している草」を見かけることがあります。これが「フェアリーリング」と呼ばれているものです。これらの正体を調べてみると、「ほこり茸」「芝生茸」「小むらさきシメジ」などが多い。木材腐朽菌の仲間である。「土壤中にある枯れ木の残渣物」「芝生の枯れた残根」「芝生の刈残し残渣物」「落ち葉」そして改良剤として使用されてきた「堆肥」「ピートモス」「亜炭」などの未分解有機物などが原因の一つとなっています。これらが分解されながら円形に勢力範囲を広げて行くのです。

見た目が悪いのと同時に、芝生の生育を妨げたり、ドライスポットの原因になります。

木材腐朽菌の担子菌門に含まれる上記の菌類は、「適当な水分」「水はけが良い(酸素が豊富)」「暖かい」ところを好みます。こうした条件下で、「未分解有機物」があれば、繁殖の条件が揃います。

「未分解有機物」以外の無機成分につきましては、以下の参考分析があります。

	灰 分	カリ	ソーダ	石 灰	鉄 AL	苦 土	リン酸	硫 酸	珪 酸	塩 素	炭酸他
菌 糸	6.33	9.80	0.24	14.71	26.65	1.48	36.23	4.83	3.50	1.21	2.90
子実体	9.66	56.06	1.60	0.35	4.04	0.00	25.30	2.63	4.05	3.39	2.89

キノコ類の栽培法 岩出亥之助著 地球出版株式会社 より

「きのこ」の菌糸、子実体(茸)の上記、成分分析表から、「きのこ」の必要とする無機成分を推察すると、「リン酸」「カリ」そして「カルシウム」などが考えられます。

キノコの発生しやすい条件

- ① 未分解有機物の多い(サッチ層の厚い)土壤。
- ② リン酸の蓄積が多い土壤。
- ③ カルシウム、カリなどの多い土壤。
- ④ 水はけが良く、酸素が充分に供給される土壤。
- ⑤ 殺菌剤が多用され、有機物の分解菌の不足した土壤。

お悩み解決の最短方法

- ① 未分解有機物の除去。(もし、殺菌剤を使用していたら、セルロース分解酵素を利用すると良い。「ブンカイザー」などの酵素剤は、殺菌剤を使用しても効力が落ちません。)
- ② 「きのこの出なくなる殺菌剤」を使用すると、「未分解有機物」を分解する善玉菌まで不足します。「リングアウト」の善玉菌の補給が、「急がば廻れ」で解決を早めます。
- ③ 毎年、フェアリーリングが出現していた箇所は、春秋のイノベーション時に、最低年間二回の「リングアウト」のご使用をお薦め致します。

お問合せ先・販売店

バイオビジネス

普及会